

## ■ 計画地

名称：大井ふ頭中央海浜公園

(昭和53年開園)

所在地：東京都品川区八潮四丁目

大田区東海一丁目

面積：281,942㎡ (スポーツの森)

## ■ 設計概要

### ○ メインピッチ

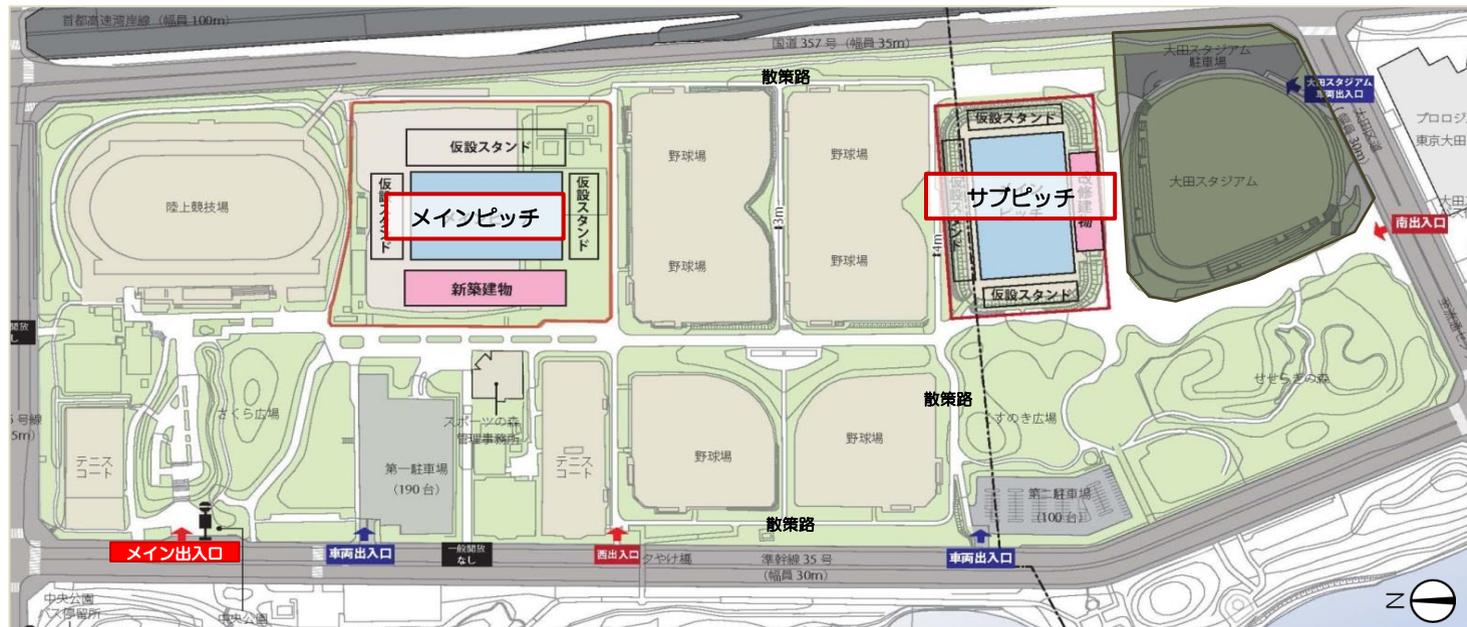
- ・メインスタンド新築工事 (観客席数：約2,600席)
- ・フィールド整備工事
- ・夜間照明設備

### ○ サブピッチ

- ・既存スタンド改修工事  
内外装改修/設備改修/EV増設(1台)  
アクセシビリティの向上
- ・フィールド整備工事
- ・夜間照明の改修



案内図 出典：港湾局HP



## 設計のポイント

### ① 質の高い競技施設の整備

- ホッケーの国際競技大会が開催可能なスタジアム

### ② 良好な観覧環境

- 視認性に配慮した座席設定
- アクセシビリティの向上

### ③ 大会後の利用計画

- 後利用の方向性を踏まえた施設計画
  - ホッケー振興の拠点
  - 様々な競技の普及・強化の拠点
  - 都民に親しまれ、賑わいのある総合的なスポーツレクリエーションの拠点

### ④ 環境配慮

- 省エネ・再エネを考慮した設備計画
- 木材利用

### ⑤ コスト

- コスト管理

## 設計における対応

- I F基準への適合（F O P寸法など）

- 適切なサイトラインを確保した座席配置
- 車いす席の分散化・同伴者席の併設
- 付加アメニティ席の設置
- トイレの機能分散

- 約2,600席の観客席を確保  
（東京2020大会時は約10,000席（仮設席を含む））
- 練習時間のニーズに対応した夜間照明の設置
- サッカー、ラクロスなどの様々なスポーツ利用が可能となるコート of 広さを確保
- 現在の公園景観（既存樹木等）を活かした施設計画
- 公園の賑わいに寄与する諸室計画・屋外施設  
複合用途諸室（カフェ、会議室、トレーニングルーム等）の設置

- 太陽光発電などの導入
- 内装材（複合用途諸室、貴賓室など）の木質化
- 多摩産材の利用

- 建設物価の動向を踏まえた積算



# メインピッチ 配置計画及び競技施設周辺エリアの大会後利用計画イメージ（案）

-大会後の利用計画イメージ（参考）-

## Aのエリア



アプローチ経路（さくら並木）が接続する「空間の広がり」が感じられる広場

現在の公園で最も「にぎわい」を感じるエリア

## スタジアム外観



既存樹木（けやしき）

## Cのエリア



※③大会後の利用計画（賑わいに寄与する屋外施設）



国際・国内大会時は関係者仮設スペース

## Dのエリア



※③大会後の利用計画（既存樹木を活かした施設計画）

-大会後の利用計画イメージ（参考）-

## Fのエリア



既存樹木を活かした散策路・休憩スペース

※③大会後の利用計画（既存樹木を活かした施設計画）

## Eのエリア



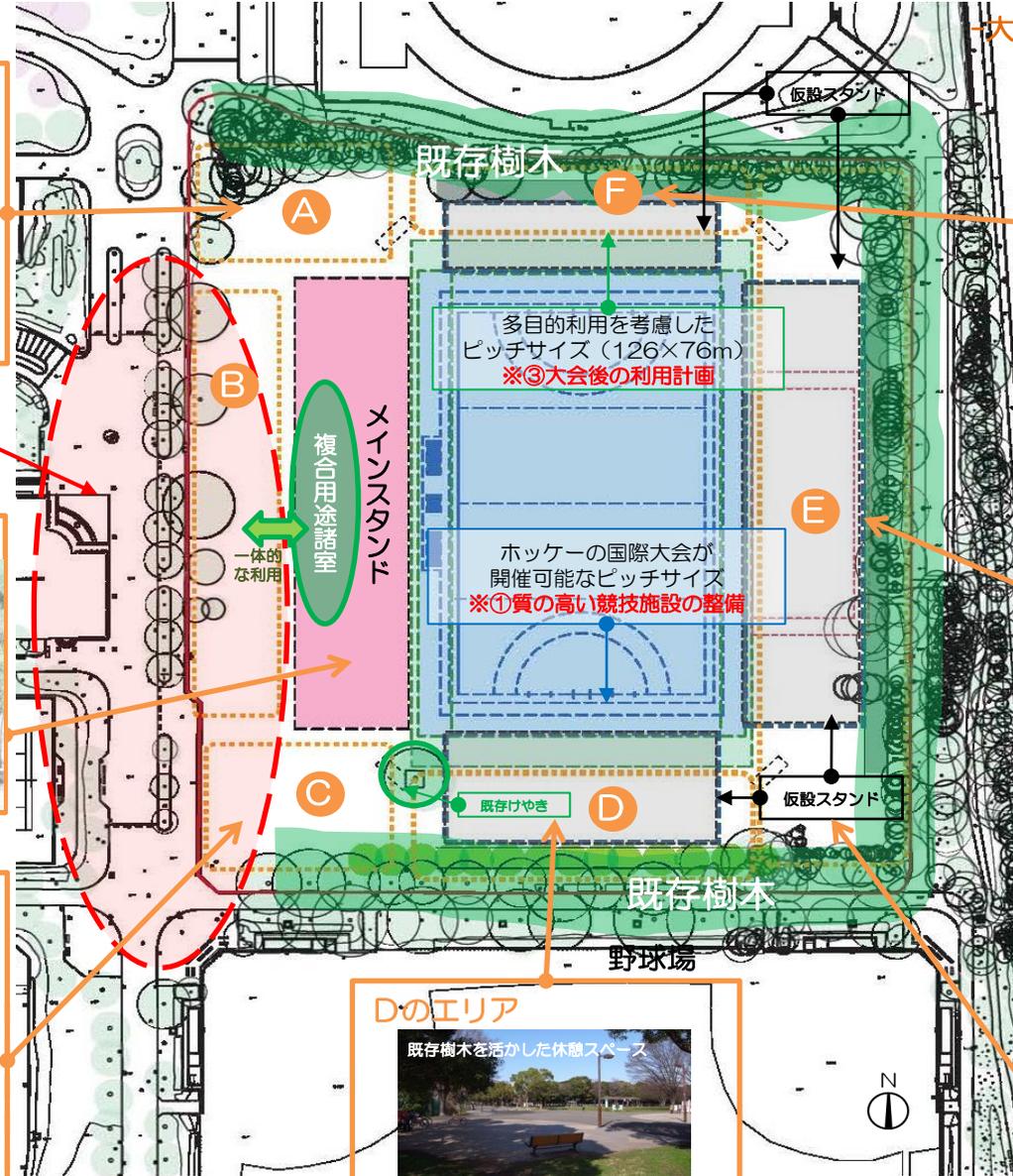
国内大会用ウォームアップ・コート

※③大会後の利用計画（既存樹木を活かした施設計画）

## 仮設スタンド



※③大会後の利用計画（国内・国際大会用仮設席設置エリアの確保）



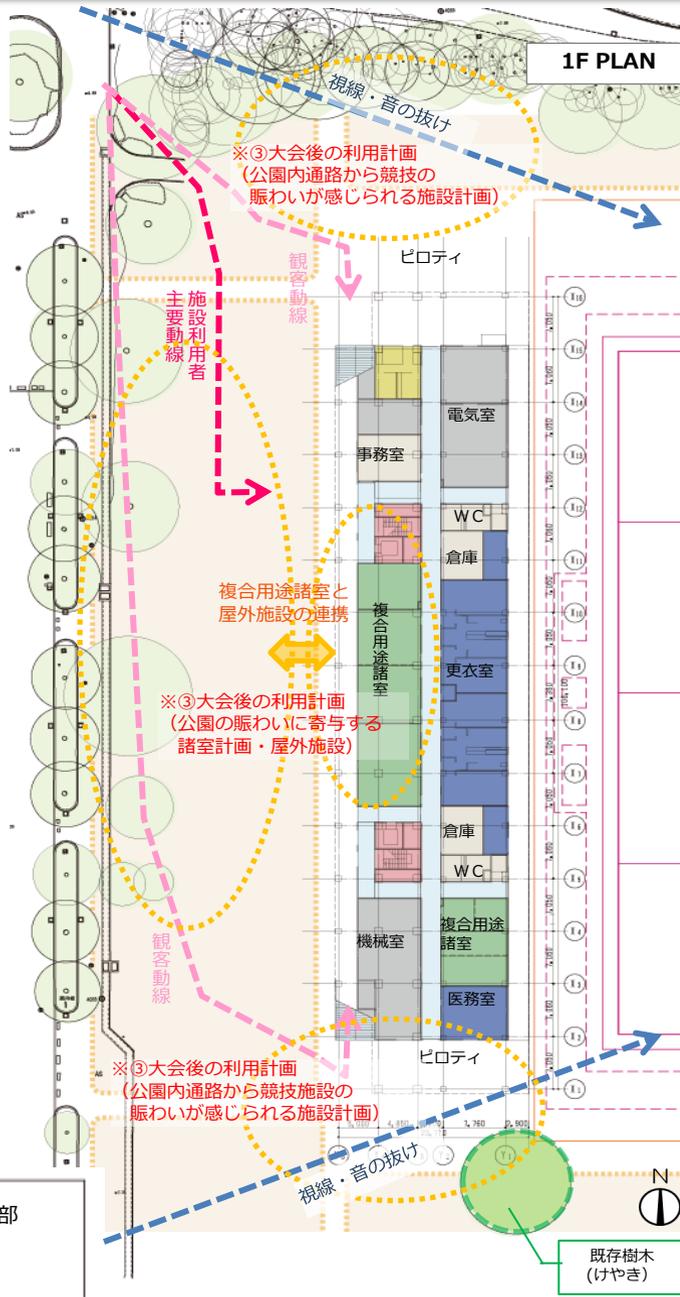
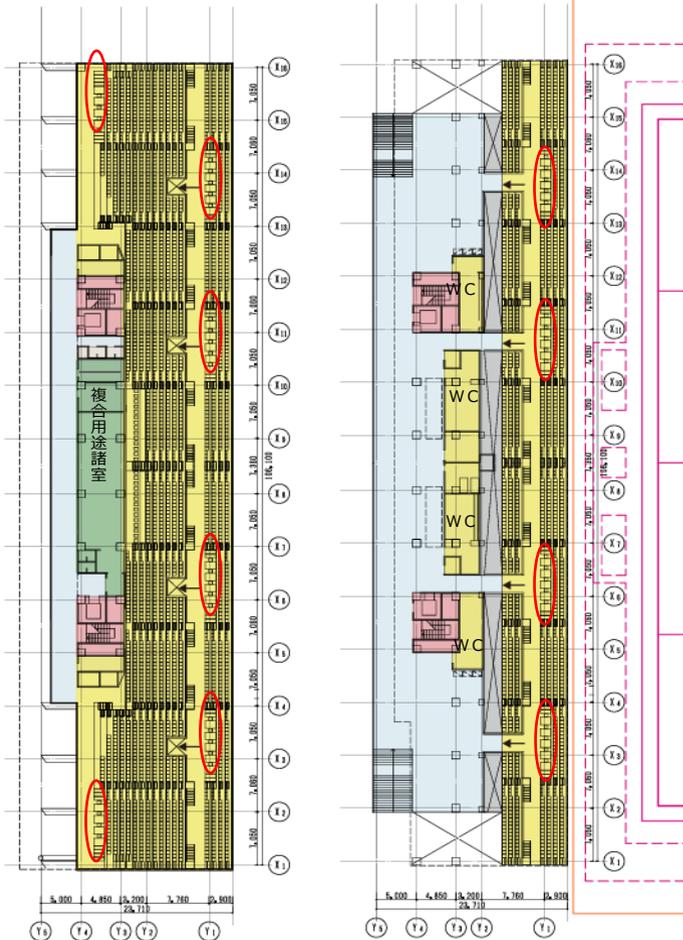
# メインピッチ 各階平面図 (案)

3F PLAN

2F PLAN

1F PLAN

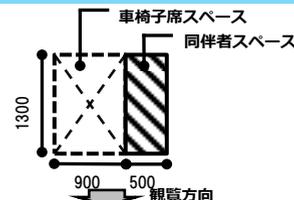
車いす席・付加アメニティ席  
 ※②良好な観覧環境  
 (車いす席の分散化・同伴者席の併設)  
 (付加アメニティ席の設置)



## アクセシビリティの向上

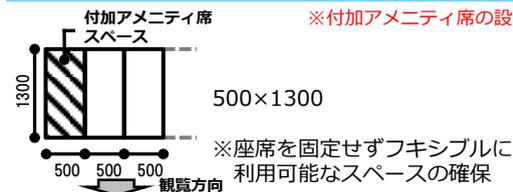
※②良好な観覧環境の確保

車いす席スペースの確保  
 (総客席数の1%)



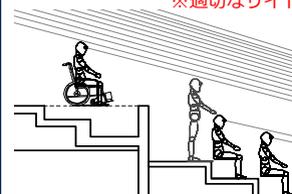
付加アメニティ席の確保 (スペース)

※付加アメニティ席の設置



サイトラインの確保

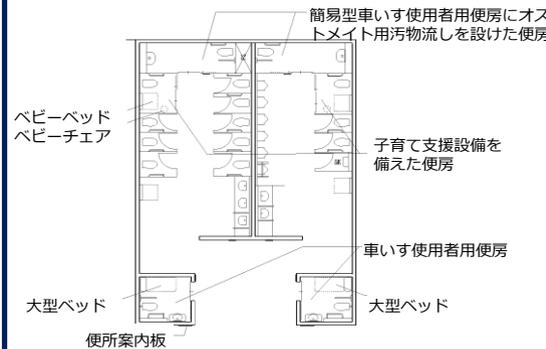
※適切なサイトラインを確保した座席配置



※車いす席前列の観客が立ち上がった場合でも車いす利用者のサイトラインを確保

トイレの機能分散 (例)

※トイレの機能分散



※東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアルより

